



郡山市議会

# 新政会

しんせいかい

VOL. 8

平成26年 9月議会報告

発行日 平成26年10月1日  
 発行責任者 橋本 幸一  
 住所 郡山市朝日1丁目23-7  
 電話 024-924-2507  
 FAX 024-924-0141

## 9月市議会の概要

郡山市議会9月定例会は9月1日から9月30日まで開催され、一般会計補正予算57億1,105万円、意見書など25議案を可決し、請願6件が採択されました。また、17特別会計は目的に沿った経費の補正を行いました。条例議案「郡山市手数料条例の一部を改正する条例」など12件が賛成多数で可決されました。

平成25年度決算特別委員会が9月25日から30日まで併せて開催されました。

### 9月定例会での主な事業

	(千円)
屋内・屋外運動施設整備の設計等	71,242
私立幼稚園の屋外遊具更新	159,656
開成山水泳場解体工事・地質調査等	97,460
AEDの設置(増設)	9,761
商店街が行う街路灯LED改修・防犯カメラの設置助成	14,634



### 関連質問の先例違反について

9月4日本会議において、最大会派の議員が、ネット予約について関連質問を行いました。本行為は、郡山市議会先例に違反して行ったものです。本件は、本人はもとより議長も見過ごし、5分間続けられました。先例集には「関連質問できる者は、市政一般質問予定者及び終了者以外の者とし…」となっており、これを無視して行われました。

この行為に新政会は、議場のルールを無視した行為であり、見過ごすことはできないという立場をとりました。最終的に、議会運営委員会に諮り、関連質問を行った議員の議事録全文削除、議長は本会議で陳謝をしました。

議会運営は、地方自治法を基本として、会議規則、委員会条例等に基づいて運営されておりますが、これだけの規則のみではあらゆる事態に対応することは困難なため、足りないところを補足しながら円滑な議会運営の拠り所となるのが先例です。

従って、議会はこの先例集を遵守し運営する義務があります。

発言取消し、議事録訂正がこの一年間でも数件ありました。議場における議員発言は重いものがあり、慎重に行うべきです。

### 施設使用ネット予約 一日も早い実現を

文教福祉常任委員会で採択されました請願「公民館利用のインターネット予約の再考を求める請願」等に反対の立場で新政会の遠藤敏郎議員が討論を行いました。

本内容は、現在、公民館や体育施設などの公共施設の利用にあたって、インターネットにより施設の空き状況の検索ができます。しかし、使用申込みの受け付けができるのは、ビッグアイの市民交流プラザだけです。

市民が望むのは、使用申請、予約をいつでも、どこからでもパソコン等のできるようにすることです。



市は、10月1日より、公民館や体育施設などの公共施設においてインターネット予約を本格的に開始する予定でした。しかし、自治会連合会等からネット予約をできない市民に不公平を招くことになり、強いては公民館運営に支障が出てくる等の理由から、インターネット予約システムから公民館を除くこと等の請願が出されました。文教福祉常任委員会において審議の結果、賛成多数で採択されました。

これに対し、新政会は、申請期間内であれば24時間施設予約が可能となり、さらに利用日当日に使用料の支払いもできるワンストップサービスが実現するなど利便性の向上がはかれること。また、インターネットを利用できない方からは、ネット予約に限定せず、これまでどおり窓口や電話でも受付を行い得ること。市は施設利用者の皆様にご利用いただけるよう、十分かつ丁寧な周知及び研修等に努めいく考えであることを明らかにしていることから、予定通り実施すべきであることを主張しました。

市は、本請願が賛成多数で採択されたことに伴い、10月1日公民館導入を延期し、他の公共施設50カ所は予定通り実施することを明らかにしました。

本施策は、市民の利便性の向上をはかるものです。他自治体においても、中核市43市のうち、40市においてシステムを既に導入しており、公民館の予約については、中核市の約半数の自治体が導入しております。

国も「世界最先端IT国家創造宣言」の中で「全ての行政サービスが電子的に受けられることを原則とし、クラウドの徹底活用により、電子行政サービスが、ワンストップで誰でもどこでもいつでもどんな端末でも受けられる「便利なくらし」社会を実現する取組みをおこなっており、地方自治体にも求めております。

本施策により、更なる市民満足度向上の実現のために、一日も早く導入すべきです。

9月定例会、市政一般質問に新政会から佐藤文雄、栗原晃、佐竹伸一議員が登壇しました。

■一般質問 佐藤文雄 議員



**佐藤文雄議員の熱意に熱海行政センターの建替え案10月中にも提示**

**問** 熱海行政センターは、「土砂災害警戒区域」に指定されており、公民館とも安全な場所にとりまして新設を以前から求めてきたが今後の見通しは。

**答** 防災拠点の観点からも早急に移転が必要である。10月中に構想案を

提示する。

**有害鳥獣対策について**

**問** 有害鳥獣捕獲に従事している人員は年々減少しており、数少ない資格者に、より多くの有害鳥獣の捕獲をしてもらう必要がある。この方を市の非常勤嘱託職員に採用し行政センターに配置すべきである。

**答** 非常勤の嘱託化については、捕獲隊や郡山市鳥獣被害防止対策協議会など、関係団体の意見要望を伺いながら、捕獲体制の強化について総合的に検討していく。

**高齢者にバス料金の助成を**

**問** 運転免許証を自主返納した高齢者に「写真付住民基本台帳カード」の無料交付だけでなく、3年間に限り年間1万円のバス料金の助成を行なったらどうか。

**答** 現在、写真付き住民基本台帳カードの無料交付やタクシー運賃の1割引きを実施している。

今後については郡山市地方社会福祉審議会からの答申を受け、本市の実情に即した高齢者支援策の実施に向け検討していく。

掲載以外の質問事項  
○災害対策、子本主義施策について

■一般質問 栗原 晃 議員



**郡山市の中小企業振興策について**

**問** 中小企業振興基本条例に対する認識と、本市の中小企業振興基本条例制定についてどう考えているのか、また制定に向けて審議会を設置してはどうか。

**答** 東日本大震災を経て、中小企業はより強靱な経営基盤の確立が求められているところであり、過日福島県中小企業家同友会郡山地区の皆様から、中小企業振興基本条例の制定についての要望書をいただいた。

その制定にあたっては、広く議論を深めていただくことが重要であり、この9月に設置を予定している「産業競争力政策会議」において、この中小企業の振興についてを主要なテーマの一つとして多面的に協議していただく。

**行政センターについて**

**問** 行政センターを今後どのような組織にするのか、またそのビジョンをどう考えているのか。

**答** ICTや民間活力を最大限に活用しながら行政のワンストップサービスの地域拠点、さらには地域住民主体のまちづくり活動を支援する最も身近な拠点として機能強化に努めていく。また、本庁と行政センターの職員との異動を積極的に行い、組織全体として市民サービスの向上に努める。

**市民の安全・安心の施策について**

**問** 本市も緊急情報を提供するデジタルサイネージを導入すべきと思うがどうか。また、土砂災害対策は。

**答** スプリアス規格の規制強化に伴い、防災行政無線のデジタル化への移行を積極的に推進する。デジタルサイネージについては、JR駅周辺で24時間災害情報を配信するなど有効に利用されていることなどから、これらを踏まえ、来年度からの導入について考えていく。市内の土砂災害危険箇所については386か所あり、「土砂災害ハザードマップ」を作成し全市民に危険箇所がわかるように十分説明する。

掲載以外の質問事項  
○財源の確保と行政の効率化について

■一般質問 佐竹伸一 議員



**子どもの貧困と地域を生かした教育環境パワーアップについて**

**問** 今年度、「地域を生かした教育環境パワーアップ事業」が予算化された。今後、一層の拡充が必要と思われるが当局の見解は。

**答** 昨年度、ボランティア組織「寺子屋郡山」が結成され、本市と連携して、今年度は29回の学習支援を計画し、実施している。

また、今年度から「地域を生かした教育環境パワーアップ事業」を立ち上げたところであり、今年度の学校外の学習支援については、小学校51校、中学校23校を中心として夏季休業や冬季休業中に、地

域の公共施設等を利用して実施または計画している。

**旧豊田貯水池跡地利用に係る進捗状況について**

**問** 旧豊田貯水池は、市中心部の調整池機能としては最大の能力を有している。旧貯水池跡地利用については、6月定例会で3パターンを想定しているとのことであったが、具体的にどこを集水エリアと想定しているのか、その後の進捗状況はどうなっているのか。

**答** 旧豊田貯水池は、雨水を一時的に溜めることが技術的に可能であることから、効果的、効率的な集水区域の検討を行っている。貯水池周辺の浸水被害を軽減するため、21世紀記念公園付近の浸水地区、及び貯水池南側の鶴見坦地区の2パターンを優先し、現在、国の「100ミリ安心プラン」登録制度を活用し、本市の浸水被害軽減を図るために実施する「ゲ

リラ豪雨対策9年プラン」を策定し、国土交通省に登録申請している。

**善宝池周辺の浸水被害対策について**

**問** 7月9日の豪雨の際に富久山町で死亡事故が起きた。この地区の浸水被害は、豪雨のたびに繰り返して発生している。善宝池を利用した浸水被害対策が急務と思われるが、当局の見解は。

**答** 大雨などが予想される場合は、養殖業者の協力を得て、池の水位を下げる措置をしているところである。この池を洪水調整池として利用することは、周辺の浸水被害対策を進める上で有効であることから、市が、適切かつ確実に管理できるよう関係権利者等と協議を進めており本定例会において、善宝池を活用するための調査費を計上したところである。

掲載以外の質問事項  
○県、安全性評価センター、農学部の新設、東部地区の課題について



## 6月の定例会市政一般質問に新政会から、良田金次郎、石川義和、廣田耕一各議員が登壇しました。

## ■一般質問 良田金次郎 議員



## 医科大医学部の新設に向けた本市の支援について

**問** 医科大医学部の新設に向けた機運が全市的に高まっている中、本市としても積極的な支援をすべきと考えるが見解は。

**答** 医学部新設は、高い公益性を有することから、地元自治体による支援は極めて意義があると考えている。

今後、この構想が採択され、要請があれば、さまざまな支援策について、地域医療

の発展のために最も適切、かつ、効果的な方法を議会に諮りながら検討していく。

## 郡山インターチェンジ周辺の開発について

**問** 平成25年度に実施した産業用地適地調査の結果は。

また、これを踏まえ、どのような郡山南インターチェンジ周辺の開発に取り組むのか。

**答** 調査を委託したシンクタンクによると「流通業務市街地整備法」による開発手法が適当との提案を受けた。

今後は、同地域が持つ多様なポテンシャルの有効利用を図るため、庁内研究会で検討するとともに、設置予定の「(仮称)産業競争力政策会議」など、有識者から意見をいただきながら多面的に調査研究を進めていく。

## 有害鳥獣による農作物被害の防止策について

**問** 鳥獣による農作物被害は深刻であり、湖南町でも4月早々から種まきジャガイモがイノシシの被害を受けた。そこで、被害を拡大させないためにも徹底した対策を講じるべきと考えるが見解は。

**答** 本年度は、従前から実施している有害鳥獣捕獲隊による駆除と併せ、狩猟期間のハンターによるイノシシ捕獲に対する支援の拡充や電気柵5万メートルの整備とともに、新規事業として捕獲隊員169名の狩猟者登録に係る経費の3分の2を補助するなどの活動支援を実施し、積極的に被害防止対策を推進する。

掲載以外の質問項目

- 再生可能エネルギーについて
- 公共工事について

## ■一般質問 石川義和 議員



## 「日本遺産」認定を目指すことに

**問** 市政施行90周年にあたり、安積附石、開成館等、安積疏水遺産群の本格的な世界遺産への第一歩としての

取り組みをされてはどうか。昨年的一般質問に対し、学識経験者等のご意見をいただきながら世界遺産暫定一覧表登載への課題を整理するなど、申請に向けた検討を進めて参ります。」と答弁しているが、その後どのような検討を行ったのか。

**答** 世界遺産への登録は、決定までに課題の整理や多くの年月が必要となることから、本市としては、ユネスコ協

会の協力も得ながら、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた観光誘客、さらには、国において創設が検討されている「(仮称)日本遺産」の動向なども視野に入れ、調査研究を進めていく。

## 安心安全のために、防犯カメラ設置を

**問** 子どもたちなど、市民の安全性を確保するため、不特定多数が利用する公道などを基本に、小学校付近や通学路等に設置場所を増やし、抑止力を強めるためにも、公共施設への設置の拡大や、自治会、自主防犯グループなどに補助対象者を拡大するなど、防犯カメラ設置の拡大をはかるべきでは。

**答** 安全・安心のまちづくりを推進する上で、有効な手段の一つである。

設置箇所等については課題もあることから、警察当局との協議や、先進自治体の状況等を踏まえ、公共施設への設置や町

内会等への補助について検討していく。

## 本市唯一の歌舞伎の拠点の建替えを

**問** 黒石荘は建築後39年が経過し、基礎、水回りなど随所に大規模な修繕が必要である。子どもたちから高齢者までの世代を超えた地域コミュニケーションの場として、また、柳橋歌舞伎の拠点でもあることから、その役割を果たせる施設に建替えるべきでは。

**答** 黒石荘は本市にとって重要な施設であると認識し、これまで、大規模な修繕が発生した場合は、迅速な対応に努めているところであり、今後の施設のあり方については、要望書の趣旨を含め、地元の見解を十分聞きながら検討していく。

掲載以外の質問項目

- 医学部の新設申請に伴う本市の支援について

## ■一般質問 廣田耕一 議員



## 人口減少問題に対する施策の成果について

**問** 本市では、人口減少問題に関し、さまざまな施策を積極的に展開しているが、今までの施策の成果は。

**答** 子本主義のもと、保育料無料化・軽減等事業や病児・病後児保育事業、子育て支援施策を積極的に展開している。

また、通学路の総点検など、教育環境の整備、予防接種の助成拡充など市民の健康づくりを図っている。

新駅設置やスマートインターチェンジなど交通対策のほか、西部第一工業団地

の整備を図り、企業誘致や雇用創出など地域経済の活性化に取り組んでいる。

## JR日和田駅歩道橋等設置に係る課題について

**問** JR日和田駅周辺の歩道橋等設置は、日和田町の将来を見据えた場合や通学路の安全確保の観点からも必要不可欠と考えるが課題は。

また、JRとの懇談会の中で具体的なテーマとなっているのか。

**答** 駅西側地区からのアクセスや周辺の土地利用状況、更には歩道橋を設置した場合の利用者のニーズに応じていくため、多面的に検討する必要があると認識している。また、近々開催予定の「市とJRとの懇談会」の中で、歩道橋の設置等を具体的なテーマとしていく。

## 労務単価や資材費の高騰による入札不調への対応について

**問** 国は、公共工事の入札不調への対応として、公共工事設計単価の見直しなどの対策を行ったが、国の対策を受け本市の対応は。

**答** 本市が発注する工事の積算は、県の積算システムを利用し、県の単価表にないものは、市独自の見積書等を採用して設計単価の変動に対応しており、実勢に即した価格を反映していると考えている。

また、工事施工中の案件は、「インフレスライドについての運用基準」を定め、賃金等の急激な変動に対応している。

今後は、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」を踏まえ、国が策定する運用指針に基づき適切に対応していく。

掲載以外の質問事項

- 新公会計制度について
- 生活保護行政について
- 市施設の稼働率の向上について
- 事業所内保育について

## 議会活性化特別委員会 新政会 議員定数35名で提案

昨年12月定例会において設置された「議会活性化特別委員会」は9月18日、第11回目の開催を数え、議員定数の適正化等について意見が交わされました。特に議員定数の適正化については、現在40名の定数について、新政会は本市の人口等を勘案して、5名減の35名を提案しました。具体的な削減案を提示しているのは新政会だけです。

今後これらについて委員会で審議を重ねることになります。

なお、議会活性化特別委員会委員に、新政会からは佐藤文雄、石川義和、佐竹伸一各議員が指名されています。

## 文教福祉常任委員会からの報告

市は、今まで市内4箇所に子ども屋内遊び場を設置する方針でしたが、その後「屋内運動施設などの整備に関する検討会」の意見や「アンケート」結果を踏まえ、3箇所を屋外遊び場にする。これに設計費7,100万円余りを計上しました。これに対し、委員から当初の説明と違い目的が異なっている等の意見が出されましたが、新政会は、震災から3年半経過し、ニーズも少しずつ変わってきている。

また、検討会の意見、アンケート調査を尊重すべきとの立場をとりました。採決の結果、原案通り可決されました。



大正東史跡公園屋内運動施設イメージ図

## 災害復興対策特別委員会

昨年12月定例会において災害復興対策特別委員会が設置され、新政会からは廣田耕一議員と栗原晃議員が指名され、廣田議員が副委員長に選任されています。これまで13回の委員会が開かれ、除染組合との意見交換や当局から進捗状況の説明などを受けました。今後は水害対策など浸水対策についても協議を行うこととしております。

## 新政会「指定管理者制度導入市場」行政調査

新政会は、包括外部監査から指摘された郡山市総合地方卸売市場は、毎年7億円以上が一般会計から繰り入れられていること、さらに、使用料も減額措置が取られている等、本市にとって大きな問題であるため、早急にその対策を講じなければならないことから、去る7月29日から30日にかけて、先進地である「松本市公設市場」「甲府市地方卸売市場」の行政調査を実施しました。

全国的に公設市場を取り巻く情勢が厳しいなか、これらの市場は、指定管理者制度を導入し、市場運営に努力をしています。

新政会はこの課題を、本議会において佐竹伸一議員が一般質問、太田忠良議員が関連質問を行い、卸売市場の改善を求めました。



## 平成23年度～25年度政務活動費報告

政務活動費の使用に当たっては、報道等によると他自治体では多くの疑義が生じておりますが、新政会は政務活動費の使用にあたっては慎重を期してきました。その結果、返還率は過去3年間で他党派と比し最高となりました。

今後も貴重な税金であることからその使用にあたっては、より適正に努めて参ります。なお、郡山市議会の党派別返還額及び、返還率は下表のとおりです。

政務活動費党派別返還額及び返還率 [単位:千円(%)]

党派名	議員数	過去3年度 交付額	過去3年度 支出額	年度別返還額及び返還率内訳 上段:返還額、下段:返還率		
				平成23年度	平成24年度	平成25年度
新風会	18	51,900	49,534	498 (4.9)	1,811 (8.9)	56 (0.3)
新政会	9	27,000	20,013	1,238 (22.9)	2,917 (27.0)	2,829 (26.2)
郡山市議会 公明党	4	12,000	9,974	530 (22.1)	906 (18.9)	588 (12.3)
社会民主党	3	11,100	11,088	2 (0.1)	3 (0.1)	5 (0.1)
日本共産党 郡山市議団	3	9,000	7,417	422 (23.5)	0 (0.0)	1,160 (32.2)
虹とみどりの会	2	6,000	5,773	41 (3.5)	58 (2.4)	126 (5.3)
郡山の未来を つくる会	1	3,000	2,998	0 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)
合計		120,000	106,797	2,735 (11.4)	5,696 (11.9)	4,766 (9.9)

※千円未満切り捨てで算出している。 ※精算のため、合計額と一致しない。  
※平成23年度は、議員改選のため、後期支出分から掲載している。 ※党派別議員数は、平成26年10月1日現在。

## 編集後記



郡山市は、今から90年前の大正13年9月1日、人口1万9千人、全国99番目の市として発足しました。今日人口34万人の東北有数の都市に発展しました。これは、市民の皆様が幾多の困難に遭いながらも克服してこられたからです。東日本大震災後3年半が過ぎました。次の100周年に向け、新政会は、復興等の課題に開拓者魂で取り組んで参ります。

## 新政会 / 議員紹介



- |   |  |  |   |   |  |  |  |   |
|---|--|--|---|---|--|--|--|---|
| <p>会長(6期)<br/><b>橋本 幸一</b></p> <p>連絡先: 郡山市千代田4-1<br/>電話: 024-957-3453<br/>FAX: 024-957-2425</p> | <p>副会長(4期)<br/><b>太田 忠良</b></p> <p>連絡先: 大槻町字南原213<br/>電話: 024-951-4334<br/>FAX: 024-951-4334</p> | <p>顧問(4期)<br/><b>遠藤 敏郎</b></p> <p>連絡先: 郡山市千代田字中津105<br/>電話: 024-959-4651<br/>FAX: 024-959-4651</p> | <p>幹事長(3期)<br/><b>佐藤 文雄</b></p> <p>連絡先: 郡山市千代田字中津105<br/>電話: 024-984-2036<br/>FAX: 024-984-2036</p> | <p>(1期)<br/><b>良田 金次郎</b></p> <p>連絡先: 湖南町赤津字南町4172<br/>電話: 024-983-2914<br/>FAX: 024-983-2088</p> | <p>(1期)<br/><b>石川 義和</b></p> <p>連絡先: 台新2-4-11<br/>電話: 024-953-6062<br/>FAX: 024-953-6062</p> | <p>(1期)<br/><b>廣田 耕一</b></p> <p>連絡先: 日和田町字南原2-111<br/>電話: 024-958-1101<br/>FAX: 024-958-1101</p> | <p>会計(1期)<br/><b>栗原 晃</b></p> <p>連絡先: 龜田1-24-11<br/>電話: 024-983-3739<br/>FAX: 024-983-3741</p> | <p>(1期)<br/><b>佐竹 伸一</b></p> <p>連絡先: 榎木1-18-1<br/>電話: 090-2368-3130<br/>FAX: 024-956-7119</p> |
|---|--|--|---|---|--|--|--|---|

ご意見をお気軽にお寄せください  
☎924-2507 fax924-0141

## 虚礼廃止について

公職選挙法により年賀状など、時候の挨拶状が禁止されています。市民の皆様には、趣旨をご理解いただきご協力を賜りますようお願いいたします。



この印刷物は、FSC®の基準に  
従って認証された適切に  
管理された森林からの木材を  
含んだ印刷用インクで印刷して  
います。紙へのリサイクルは、